

土砂災害警戒情報とは

大雨により土砂災害の危険度が高まった市町村に、避難情報などを発表する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう都道府県と気象台が共同して発表する防災情報です。
土砂災害警戒情報は、これまでに降った雨

による地中の水分量（土壌雨量指数）と今後予想される雨量をもとに、危険度が一定レベルに達したときに発表されます。



避難情報の判断基準・発表地域の目安

市では、気象予警報や土砂災害警戒情報・記録的短時間大雨情報および府の新土砂災害警戒情報システムの土砂災害危険度レベルにより、市が発表する避難情報（避難準備情報、避難勧告、避難指示）の判断基準、発表地域の目安を暫定的に定め運用しています。



《避難情報の判断基準・発表地域の目安（暫定版）》

避難情報	判断基準（※）	発表地域	とるべき行動
避難準備情報 (要配慮者避難情報)	① 記録的短時間大雨情報発表	発表地域が含まれる地域ごと (大浦、東舞鶴、中舞鶴、西舞鶴、加佐)	◆情報収集 ◆避難の準備(要配慮者は避難) ◆自主避難
	② 土砂災害警戒情報発表かつ危険度レベル①・② (イエロー・オレンジ) 45土砂災害危険度参照	危険度レベル①・② が含まれる地域ごと (大浦、東舞鶴、中舞鶴、西舞鶴、加佐)	
避難勧告	① 記録的短時間大雨情報発表 (避難準備情報発表基準事象が発生している場合)	発表地域が含まれる地域ごと (大浦、東舞鶴、中舞鶴、西舞鶴、加佐)	◆避難開始 ◆垂直避難 (屋外への避難が危険な場合)
	② 土砂災害警戒情報発表かつ危険度レベル③(レッド) 45土砂災害危険度参照	危険度レベル③(レッド) が含まれる地域ごと (大浦、東舞鶴、中舞鶴、西舞鶴、加佐)	
	③ 土砂災害警戒情報発表かつ土砂災害事象の覚知	事象発生場所が含まれる地域ごと (大浦、東舞鶴、中舞鶴、西舞鶴、加佐)	
避難指示	① 土砂災害が発生	土砂災害が発生または発生する危険性が高まった地区	◆ただちに避難 ◆垂直避難 (屋外への避難が危険な場合)

※原則、大雨（土砂災害）警報発表中

命を守る行動を！

◆山際などにお住まいの人へ

夜間など屋外への避難が危険な場合は、垂直避難など、命を守る行動を取ってください。



2階へ避難！

垂直避難とは？

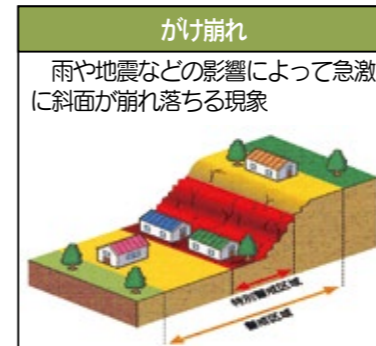
- ① 自宅の2階以上の山から離れた部屋へ垂直方向に避難すること
- ② 隣近所の安全な建物の2階以上へ垂直方向に避難すること

土砂災害警戒区域・特別警戒区域《市内全域でほぼ指定完了》

府では、「土砂災害防止法」に基づき、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」の指定を進めており、市内では一部の地域を除き、ほぼ全域で指定が完了しました。現在、市内では2181箇所の区域が指定されています。

《土砂災害防止法とは》「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」…土砂災害から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域について、危険の周知、警戒避難体制の整備などのソフト対策を推進するもの。

《こんな場所が区域指定の対象に》



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

イエローゾーン：土砂の影響は受けるが、建物の破壊まではないと考えられる区域
レッドゾーン：建物破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域

平常時に確認を《ハザードマップ・警戒区域等情報マップなど》

◆土砂災害ハザードマップを作製（市）

市では、市民の皆さんに土砂災害への意識を高めていただくとともに、迅速かつ円滑に避難していただくため、区域の指定にあわせて、順次「土砂災害ハザードマップ」を作製し、警戒区域などが含まれる自治会に全戸配布しています。また、市ホームページにも掲載。



▲土砂災害ハザードマップ

◆土砂災害警戒区域等情報マップの運用開始（府）

府ホームページに掲載されている府内地図から、知りたい場所をスムーズに検索できます。検索地域周辺も併せて確認でき、平常時からの警戒区域の把握や災害時における避難に役立ちます。

《検索方法》 京都府トップページ→地図情報→統合型地理情報システム(GIS)→防災→土砂災害警戒区域等情報マップ

《統合型地理情報システム(GIS)のURL》

<http://g-kyoto.gis.pref.kyoto.lg.jp/g-kyoto/top/>



▲土砂災害警戒区域等情報マップ（ホームページの画面）

降雨時に確認を《警戒情報システムなど》

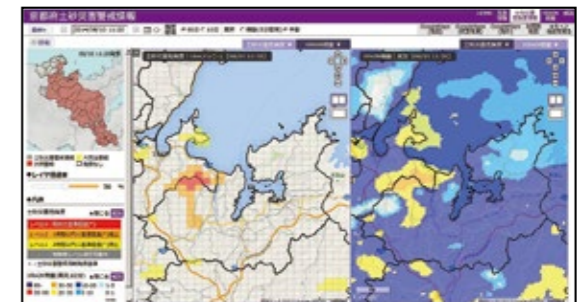
◆新土砂災害警戒情報システムの運用開始（府）

府では、これまでの情報をより細分化して土砂災害の危険度や雨量などが確認できる土砂災害警戒情報システムをリニューアルし運用を開始しました。

《土砂災害危険度》 土砂災害の危険度の表示をこれまでの5キロメートルメッシュ（枠）から1キロメートルメッシュ（枠）の範囲にして、危険度レベルを①（イエロー）②（オレンジ）③（レッド）の3段階で表示することにより、危険な場所をより細かく特定できるようになりました。

《XRRAIN雨量》 解析雨量を1キロメートルメッシュ（枠）から250メートルメッシュ（枠）に精度を向上することにより、地域の危険度がより分かりやすくなり、これまで以上に早めの避難の目安に役立てていただけます。

《新土砂災害警戒情報システムのURL》 <http://d-keikai.pref.kyoto.jp/>



▲新土砂災害警戒情報システムのホームページ（イメージ画面）